

The 31st Annual Meeting of the Japanese Society of Studies on Addictive Behaviors

第31回

日本嗜癮行動学会 熊本大会

プログラム・抄録集

メイン
テーマ

嗜癮行動のはじまりと回復

会期

2021年11月5日(金)・6日(土)

会場

WEB会場

大会長

赤木 健利 特定医療法人 富尾会 桜が丘病院

The 31st Annual Meeting of
the Japanese Society of Studies on Addictive Behaviors

第31回 日本嗜癮行動学会 熊本大会

プログラム・抄録集



嗜癮行動のはじまりと回復

会期 2021年11月5日(金)・6日(土)

会場 WEB会場

大会長 赤木 健利 特定医療法人 富尾会 桜が丘病院

後援 熊本県
熊本市
熊本県医師会
熊本市医師会
熊本県精神科協会

第31回 日本嗜癮行動学会熊本大会 事務局

特定医療法人 富尾会 桜が丘病院 内

担当：原田 健一、田上 雄一郎

〒860-0082 熊本県熊本市西区池田3丁目44-1

TEL 096-352-6264 FAX 096-352-6721

E-mail: 31shiheki@sakuragaoka.or.jp

ご挨拶

第31回日本嗜癮行動学会 熊本大会

大会長 赤木 健利

特定医療法人富尾会 桜が丘病院 精神科医師

第31回日本嗜癮行動学会熊本大会は2017年の第28回東北大会の理事会で熊本開催が決められました。ところが2019年の年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症 covid-19は、翌年、2020年2月ごろからヨーロッパに広がりたちまち全世界を巻き込むパンデミックになってしまいました。

現地実行委員会は次年度開催地(岐阜)とも交渉して、次年度への延期を決めていただき、まったく新しい企画の元に2021年に Web で Zoom 開催することになりました。

新しい企画のモデルは、2021年3月に国立医療センター肥前病院を中心に開かれた九州アルコール関連問題学会佐賀大会でした。この学会を参考にして、講師の先生方をお願いしたところ快く引き受けていただき感謝に堪えません。おかげで素晴らしい企画ができたと自画自賛しているところです。

メインテーマ「嗜癮行動のはじまりと回復」のままです。

嗜癮行動のはじまりのひとつは嗜癮行動になりやすさ、個人の発達過程にも問題があります。嗜癮行動学会では、小児期の不適切な養育、特にアルコール依存症家族の中で育った子供たち(チルドレンオブアルコールリックス)が大人(アダルト)になっていきづらさを抱えてついにはさまざまな精神疾患を発病すると同時に様々の嗜癮行動に陥っていくということが議論されてきました。さらに発達過程でおこる人格の問題も話題にされてきました。今回長崎大学の今村先生には神経発達の問題、小児期の逆境体験と嗜癮行動の関連に触れていただくものと楽しみにしています。

またこれに関連して子供たちを中心にゲーム障害やネット依存症などが爆発的にふえていますが、関連問題は理解できますが、どこから手に付けてよいか、少なくとも医療者としてはどうすればいいか、その課題に取り組んでおられるジャパンマック福岡やどりぎの相談活動やデイケアの取り組みに挑戦されている報告を受けたいと思います。

ここ数年当学会ではオープンダイアログを取り上げてきましたが、リフレクティングは、オープンダイアログの核ともいえる対話技法であり、幸い熊本で活動されている矢原先生に講演を依頼し、ここ4年間、桜が丘病院を中心に近隣病院も含めてスタッフの研修も積み重ねられてきております。熊本で開催するうえではチャンスです。これからオープンダイアログとともに広がっていく対話技法です。

クレプトマニアは嗜癮行動学会では毎年取り上げられてきましたが、近年ますます医療の場面に相談が持ち込まれてきている分野です。犯罪と嗜癮、司法と医療の狭間で今後どう対処すべきか大きな社会問題となっています。

2日目の冒頭には野口裕二先生にお願いして、依存症の社会学というテーマで講演をお願いしました。依存症というのは当初はなかなか専門家の中でも理解が得られなくて、「そんなのは甘えだ病気じゃない」と受け入れられないことも多くありました。今では広く受け入れられるようになり、医療面でも福祉面でも依存症に苦しむひとへの援助を受けることができるようになっています。

また橋本望先生のギャンブル依存症については、カジノ解禁との関係で新たな重要性を帯びてきました。ICD-11でも嗜癮関連疾患として位置づけられ日本でも治療の対象として広く関心と呼んでいます。新しい話題や国際的な話題にも触れてもらえると期待しています。

2日目の午後は、大会理事長の斎藤學先生の講演です。最近の話題を中心に嗜癮関連の話題を斬って中身を暴いていただけるものと思います。

2日間の長丁場ではありますが、どの講演やワークショップも嗜癮行動を扱っていくうえで重要なものばかりだと思います。

また、オンデマンド配信も計画しておりますので、ぜひご利用ください。当日オンラインで参加できなかった方々も、事務局までご連絡ください。

ご 案 内

I. 学会概要

- テ　　マ：「嗜癲行動のはじまりと回復」
- 主　　催：日本嗜癲行動学会
- 会　　期：2021年11月5日（金）・6日（土）
- 会　　場：WEB（Zoomを使用）
- 大　会　長：赤木 健利（特定医療法人富尾会 桜が丘病院 名誉院長）
- 大会事務局：〒860-0082 熊本県熊本市西区池田3丁目44-1
TEL：096-352-6264（特定医療法人富尾会 桜が丘病院 内）
E-mail：31shiheki@sakuragaoka.or.jp
担当：原田 健一・田上 雄一郎

II. 参加者へのご案内

※本学会に参加される全ての方には守秘義務が課せられます事をご了承ください。

【参加費】　　会員：4,000円　　非会員：5,000円　　学生：2,000円

- ・理由の如何にかかわらず、参加登録後の返金には応じられませんので、ご了承ください。
- ・参加登録を完了された方には学会が近づきましたら Web 会場ログイン時に使用する ID、およびパスワードをメールでお知らせします。
- ・本学会は Zoom を使用したオンライン学会として開催します。事前にアプリケーションのダウンロードとインストールが必要となりますので、各自でご準備をお願いします。
- ・講演中・発表中はミュートをお願いします。
- ・会期終了後、期間限定でオンデマンド配信を行います。

期間：2021年11月22日（月）～12月18日（土）

III. 講師・座長へのご案内

- ・担当される講演の5分前までに Zoom ミーティングへの参加をお願いします。

IV. その他ご案内

1. 日本嗜癲行動学会への入会について

日本嗜癲行動学会への入会をご希望の方は、下記事務局にお問い合わせください。

〒106-0045 東京都港区麻布十番2-14-6 イイダビル2F
家族機能研究所内 日本嗜癲行動学会事務局（担当：山中）
TEL：03-5476-6041 FAX：03-5476-6543
E-mail：society@iff.or.jp

※お問い合わせはメールでお願いいたします。

2. 日本精神神経学会の単位取得について

本大会は【学会単位・機構単位（精神科領域講習）】として【3単位】の取得予定です。
Zoom のログを基に報告を行いますので、単位取得を希望される先生は事務局まで所属・氏名・日本精神神経学会の会員番号をメールでお知らせください（当日はお知らせいただいたものと同じ氏名でログインをお願いします）。

WEB 開催のご案内

《 事前の準備 》

1. 接続機器の準備

- 本会の WEB 開催は Zoom を使用します。
- Zoom では Windows、Mac、Linux、Android(スマートフォン・タブレット等)、iOS (iPad、iPhone 等)に対応しております。
- サポートされている利用可能な機器(OS のバージョン等)をご確認ください。
- 詳細は Web 会議システム「Zoom」公式ホームページの「Zoom ヘルプセンター > 始めに > デスクトップ」(※ PC の場合)「Zoom ヘルプセンター > 始めに > モバイル」(※スマートフォン・タブレット等の場合)をご参照ください。

2. インターネット環境の準備と設定

PC を使用する場合は有線 LAN 接続を強く推奨いたします。

3. 付属設備の準備と設定(スピーカー、Web カメラ)

[スピーカー]

- 事前に Zoom のオーディオ設定でスピーカーをテストし、音量を確認してください。
- PC の場合は Zoom の音量の他に、PC 本体の音量設定も確認してください。

4. Web 会議システム「Zoom」のインストールとアカウント取得

- 事前に参加する接続機器に Web 会議システム「Zoom」をインストールしてください(無料)。
- アカウント取得後、マイプロフィールの氏名を事前参加登録時と同様の氏名(漢字)(例：熊本 太郎)に変更してください。

《 当日の流れ 》

1. 第31回日本嗜癪行動学会ホームページより、WEB 配信ページにログインしてください。次に事務局よりお送りした ID、パスワードを入力してください。
※必ず安定したインターネット環境で参加をお願いいたします。
2. 視聴される会場の Zoom ボタンをクリックしてセッションにご参加ください。
3. 開始時間になるとセッションが開始いたします。
4. 質問がある場合は Zoom のチャット機能を使用してください。

【重要】視聴に関する注意事項

第31回日本嗜癪行動学会に関わる抄録ならびに発表スライドに関して、写真撮影(スクリーンショットを含む)・ビデオ撮影・録音は一切禁止いたします。

日 程 表

11月5日金

ライブ配信(Zoom)

9:30	9:30~9:40	歓迎挨拶	富田 正徳
	9:40~10:00	大会長挨拶	赤木 健利
10:00	10:00~11:20	講演 1 神経発達症者の嗜癖行動について	講師：今村 明 座長：渡邊 雅文
11:00	11:20~12:10	講演 2 ゲーム障害への支援の実際 — やどろぎでの取り組みから —	講師：谷川 芳江 座長：赤木 健利
12:00	12:10~12:40	理 事 会	
13:00	13:00~15:30	ワークショップ リフレクティング・ワークショップ： 支援の回復と専門家の新たな責任	矢原 隆行 リフレクティング研修生
14:00	15:30~16:10	講演 3 クレプトマニア(窃盗症)のはじまりと回復 — 常習、窃盗者2,200人の治療経験から —	講師：竹村 道夫 座長：赤木 健利
16:00	16:10~16:50	一般演題 1~4	
17:00	16:50~17:40	オンライン総会および交流会(予定)	

11月6日土

ライブ配信(Zoom)

9:30	9:30~10:40	講演 4 アディクションの社会学	講師：野口 裕二 座長：岡田 洋一
10:00	10:40~12:00	講演 5 ギャンブル障害のアセスメントと 診療のコツ	講師：橋本 望 座長：赤木 健利
11:00			
12:00			
13:00	13:00~15:30	講演 6 インターネット社会の行動嗜癖 —ギャンブル、ゲーム、そしてセックス—	講師：斎藤 学 座長：赤木 健利 岡田 洋一
14:00	15:30~	閉 会	
15:00			
16:00			
17:00			

プログラム

第1日目 11月5日(金)

9:30～9:40 **歓迎挨拶**

富田 正徳(熊本県精神保健福祉センター センター長)

9:40～10:00 **大会長挨拶**

赤木 健利(桜が丘病院 名誉院長)

10:00～11:20 **講演1**

座長：渡邊 雅文(桜が丘病院 医師)

神経発達症者の嗜癖行動について

今村 明(長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部 教授)

11:20～12:10 **講演2**

座長：赤木 健利(桜が丘病院 名誉院長)

ゲーム障害への支援の実際 ―やどりぎでの取り組みから―

谷川 芳江(カウンセリングスペース やどりぎ 施設長)

12:10～13:00 **昼休み** (理事会 12:10～12:40)

13:00～15:30 **ワークショップ**

リフレクティング・ワークショップ：支援の回復と専門家の新たな責任

矢原 隆行(熊本大学大学院 人文社会科学部 教授)

リフレクティング研修生(桜が丘病院スタッフ)

クレプトマニア(窃盗症)のはじまりと回復 —常習、窃盗者2,200人の治療経験から—

竹村 道夫(赤城高原ホスピタル 院長)

1 コロナ禍に揺れた2020年度の1年： 不安を蓄積させた神経性過食症の患者さんたちが起こしたと、私に起こったこと

○香山 雪彦¹⁾²⁾

1)社会医療法人秀公会 ケアフォーラムあづま、2)財団法人 桜ヶ丘病院(福島市)

2 HSPとアダルト・チルドレンの関連性に関する一考察

○柿原 愛¹⁾、四戸 智昭²⁾

1)医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院、2)福岡県立大学 看護学部

3 Covid-19が関西地区のAlcoholics Anonymous ミーティング開催量に与える影響 —会場の種別、及び「聖地」に着目して—

○長縄 洋司¹⁾²⁾

1)公益財団法人社会福祉振興・試験センター 試験室

2)東洋大学大学院 ライフデザイン学研究科 博士後期課程

4 インターネット・ゲーム依存 駒木野病院での実践報告

○西山 竜司、上野 耕揮、佐山 英美、菊池 達樹、木村 智一、伊藤 涉

医療法人財団青溪会 駒木野病院

第2日目 11月6日(土)

9:30～10:40 **講演4**

座長：岡田 洋一(九州ルーテル学院大学 人文学部 心理臨床学科 教授)

アディクションの社会学

野口 裕二(東京学芸大学 名誉教授)

10:40～12:00 **講演5**

座長：赤木 健利(桜が丘病院 名誉院長)

ギャンブル障害のアセスメントと診療のコツ

橋本 望(岡山県精神科医療センター 医局長)

12:00～13:00 **昼休み**

13:00～15:30 **講演6**

座長：赤木 健利(桜が丘病院 名誉院長)

岡田 洋一(九州ルーテル学院大学 人文学部 心理臨床学科 教授)

インターネット社会の行動嗜癖 ーギャンブル、ゲーム、そしてセックス

斎藤 学(医療法人社団學風会 家族機能研究所/さいとうクリニック)

15:30～ **閉会**

A series of horizontal dashed lines for writing.

講演

1 神経発達症者の嗜癖行動について

座長：渡邊 雅文（桜が丘病院 医師）

演者：今村 明（長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部 教授）

2 ゲーム障害への支援の実際 —やどりぎでの取り組みから—

座長：赤木 健利（桜が丘病院 名誉院長）

演者：谷川 芳江（カウンセリングスペース やどりぎ 施設長）

3 クレプトマニア（窃盗症）のはじまりと回復 —常習、窃盗者 2,200 人の治療経験から—

座長：赤木 健利（桜が丘病院 名誉院長）

演者：竹村 道夫（赤城高原ホスピタル 院長）

4 アディクションの社会学

座長：岡田 洋一（九州ルーテル学院大学 人文学部 心理臨床学科 教授）

演者：野口 裕二（東京学芸大学 名誉教授）

5 ギャンブル障害のアセスメントと診療のコツ

座長：赤木 健利（桜が丘病院 名誉院長）

演者：橋本 望（岡山県精神科医療センター 医局長）

6 インターネット社会の行動嗜癖 —ギャンブル、ゲーム、そしてセックス

座長：赤木 健利（桜が丘病院 名誉院長）

岡田 洋一（九州ルーテル学院大学 人文学部 心理臨床学科 教授）

演者：斎藤 学（医療法人社団學風会 家族機能研究所／さいとうクリニック）

神経発達症者の嗜癖行動について

今村 明

長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部 教授

アルコールを含む物質使用障害やギャンブル障害、ゲーム障害(ゲーム症)など様々な依存症/行動嗜癖の背景に、注意欠如・多動症(attention-deficit/hyperactivity disorder : ADHD)や自閉スペクトラム症(autism spectrum disorder : ASD)等の神経発達症が潜んでいる場合があることが指摘されている。

成人期 ADHD の世界規模の疫学調査では、ADHD の11.1%に物質使用障害がみられ、また物質使用障害の12.5%に ADHD がみられることが報告されている(Fayyad et al. 2007)。ギャンブル障害と ADHD (Hellström et al. 2017)、インターネット使用障害と ADHD (Bielefeld et al. 2017)、ゲームへの嗜癖と ADHD (Vadlin et al. 2016)等、様々な依存症/行動嗜癖との関連が報告されている。

ADHD と依存症の脳機能の問題で、共通するキーワードとして挙げられるのが、「報酬系の障害」である。ADHD は狩猟民族の末裔ともたとえられるように、目の前にある刺激、リスクのある刺激に飛びついてしまう傾向があると言われている。このような傾向が依存症の発症に影響していることが想定される。

ASD も ADHD ほどではないが、依存症との関連が指摘されている。ASD で報告された物質使用障害の有病率は1.3%から36%の範囲で、タバコ、アルコール、大麻の順に多かった。ASD と物質使用障害とは相関が認められ、ASD に不安障害やうつ、さらに ADHD、逆境の家族歴等が加わると物質使用障害との相関は高まる(Ressel et al. 2020)。また ASD とゲーム障害やインターネット使用等の問題は多数報告されている(Liu et al. 2017 ; Romano et al. 2014)。

ASD と依存症/行動嗜癖との関連は、ASD の社会的孤立の状態となりやすい傾向や限局性・反復性の特徴が影響しており、特に感覚の問題の一つである「感覚探求」と関係があるのではないかと演者は推測している。

このように神経発達症と嗜癖とは関連があるものと思われるが、上記の Ressel らの報告のように、それに愛着形成の障害やトラウマ関連障害の問題が加わると、よりその傾向は強くなるものと考えられる。このような問題を有する可能性のある人物として、太宰治やマイケル・フェルプスを取り上げ、公表されている情報をもとに病跡的考察を行う。また長崎県で行われたギャンブル・ゲームについての実態調査の結果について報告する。またこのような神経発達症者の嗜癖行動に対する当診療部での取り組みを紹介する。

略 歴

1992年 長崎大学医学部 精神神経科学教室 入局
1994年 長崎県精神医療センター
1998年 長崎県上五島病院
2000年～ 長崎大学医学部 精神神経科 助教・講師
2003年～2006年
長崎県中央児童相談所（非常勤）
2006年～現在
長崎家庭裁判所（非常勤）
2009年～2016年
長崎大学大学院 精神神経科学 准教授
2016年～ 長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部 教授

資 格

本精神神経学会専門医・指導医
精神保健指定医
精神保健判定医
子どものこころ専門医
臨床遺伝専門医
日本医師会認定産業医
公認心理師 等

著 書

- 『僕は発達凸凹の大学生 ―『発達障害』を越えて―』山田隆一, 今村明, 星和書店 2019
- 『おとなの発達症のための医療系支援のヒント』今村明 星和書店 2014 等

一般演題

演者：香山 雪彦(社会医療法人秀公会 ケアフォーラムあづま、
財団法人 桜ヶ丘病院(福島市))

柿原 愛(医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院)

長縄 洋司(公益財団法人社会福祉振興・試験センター 試験室、
東洋大学大学院 ライフデザイン学研究科 博士後期課程)

西山 竜司(医療法人財団青溪会 駒木野病院)

コロナ禍に揺れた2020年度の1年：不安を蓄積させた神経性過食症の患者さんたちが起こしたこと、私に起こったこと

○香山 雪彦¹⁾²⁾

- 1) 社会医療法人秀公会 ケアフォーラムあづま
- 2) 財団法人 桜ヶ丘病院(福島市)

私は精神科病院とその分院のクリニックで摂食障害と引きこもりに特化した診療を行ってきました。その私の外来で2020年の春には高校・大学1年生の患者さんたちが増えました。これは入学したけれど学校が始まらない、始まったらウェブ授業で、不安が強まったのでしょうか。その人たちを含め、患者さんたちが秋から様々な出来事を起こしました。

夏を越した9月に4人の若い患者さんたちが立て続けに過量服薬を起こしました。それは全国で若い女性の自殺が増加したことと呼応していますが、私の患者さんたちの自殺企図は10年間で2人しかいなかったのに、1ヶ月に4人は異常事態で、対応にあたふたしました。幸い致命的な服薬の人はいなくて、それを契機に家族関係が一気に改善した人たちもいました。

また、止まっていた万引きの嗜癖(クレプトマニア)を再発させた患者さんが2人いて、何度目かの逮捕だったので裁判になって、その人たちへの対応も必要でした。さらにもう1人が、逮捕をきっかけに本気で治療に取り組む気持ちになって、外来に通うようになりました。

さらに、病院・クリニックで患者さんたちが相次いでトラブルを起こしました。一人は入院中に病棟スタッフの態度に不快感を持って保健所に訴えようとしたものですが、もう一人はコロナウイルスの感染の可能性について尋ねようとしたときのスタッフの対応に立腹したものでした。

これらの出来事はすべて、春からのコロナ禍で生活が様々に制限されて数ヶ月が経つ中で、不安をつのらせて深刻化、追い詰められていったことが背景にあると理解されました。

私は上記のトラブルで病院に迷惑をかけたこと、およびそのような時でも患者さんの側の事情を考えようとする私の診療のあり方が合わないと感じて勤務していた病院を辞めました。それでも後期高齢者になっても仕事を続けたく、しかし非常勤でも精神科関係の適切な勤め先が見つからず、感染が地方都市にも及んできている雰囲気もあって、一時は抗不安薬の世話になりました。そこに親しい友人の紹介があって、現在は脳外科中心の病院に付設された介護老人保健施設に勤務して、施設長を務めています。摂食障害や引きこもりの若い患者さんたちを診てきたのと全く違った仕事になりましたが、福祉関係の講義も行ってきたのと認知症の母親の介護の経験が生きています。

その一方で、ずっと診てきて見放せない患者さんたちがたくさんいて、その病院に精神科を立ち上げたのと、車のない若い人たちが通いやすいように駅構内のクリニックの二カ所で外来診療を続けています。

第31回日本嗜癪行動学会 熊本大会

大会長：赤木 健利

事務局：特定医療法人 富尾会 桜が丘病院 内
〒860-0082 熊本県熊本市西区池田3丁目44-1
TEL：096-352-6264
E-mail：31shiheki@sakuragaoka.or.jp
担当：原田 健一、田上 雄一郎

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

第31回 日本嗜癪行動学会熊本大会 事務局

特定医療法人 富尾会 桜が丘病院 内

担当：原田 健一、田上 雄一郎

〒860-0082 熊本県熊本市西区池田3丁目44-1

TEL 096-352-6264

E-mail: 31shiheki@sakuragaoka.or.jp